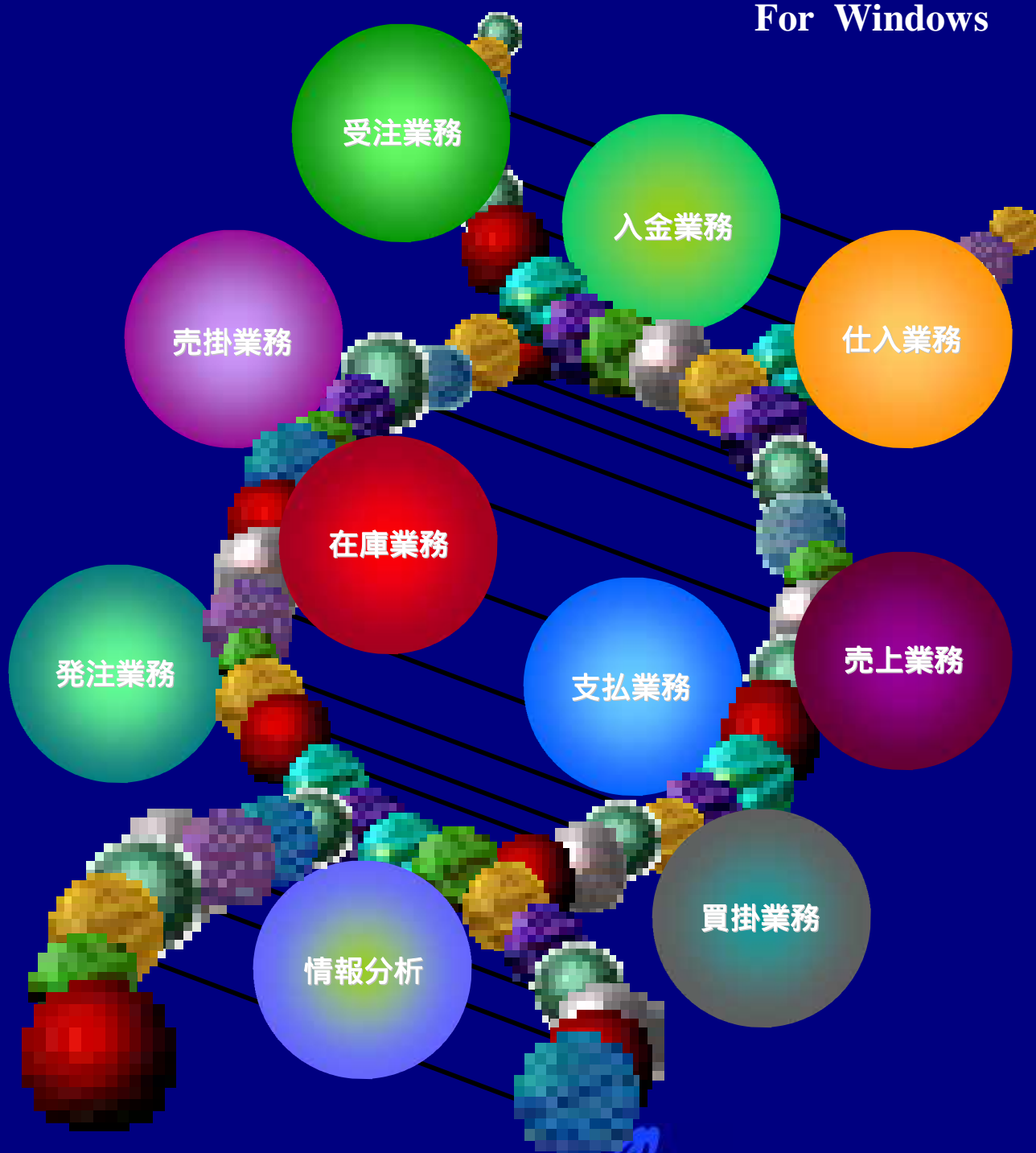


企業の**販売管理DNA**を移植できるパッケージ登場！！

Hyper CoPa

For Windows



Hyper CoPa の開発コンセプト

シンプルなシステム

業務システムの目的は、経営上の問題を解決することですが、それを実現するにはシステムが正しく運用されなければなりません。システムの運用が複雑だったり、現場のシステム利用者に負担がかかってしまうと、システムの運用が困難になり、本来の目的を果たせなくなります。

業務とシステムが一体化するためには、必要とする機能を有し、かつシンプルでなければなりません。

システム化することでかえって複雑になってしまう部分や、業務上での例外的な部分などは、無理にシステム化せず、全体をシンプルに仕上げるのが大切と考えます。

データ中心という考え方

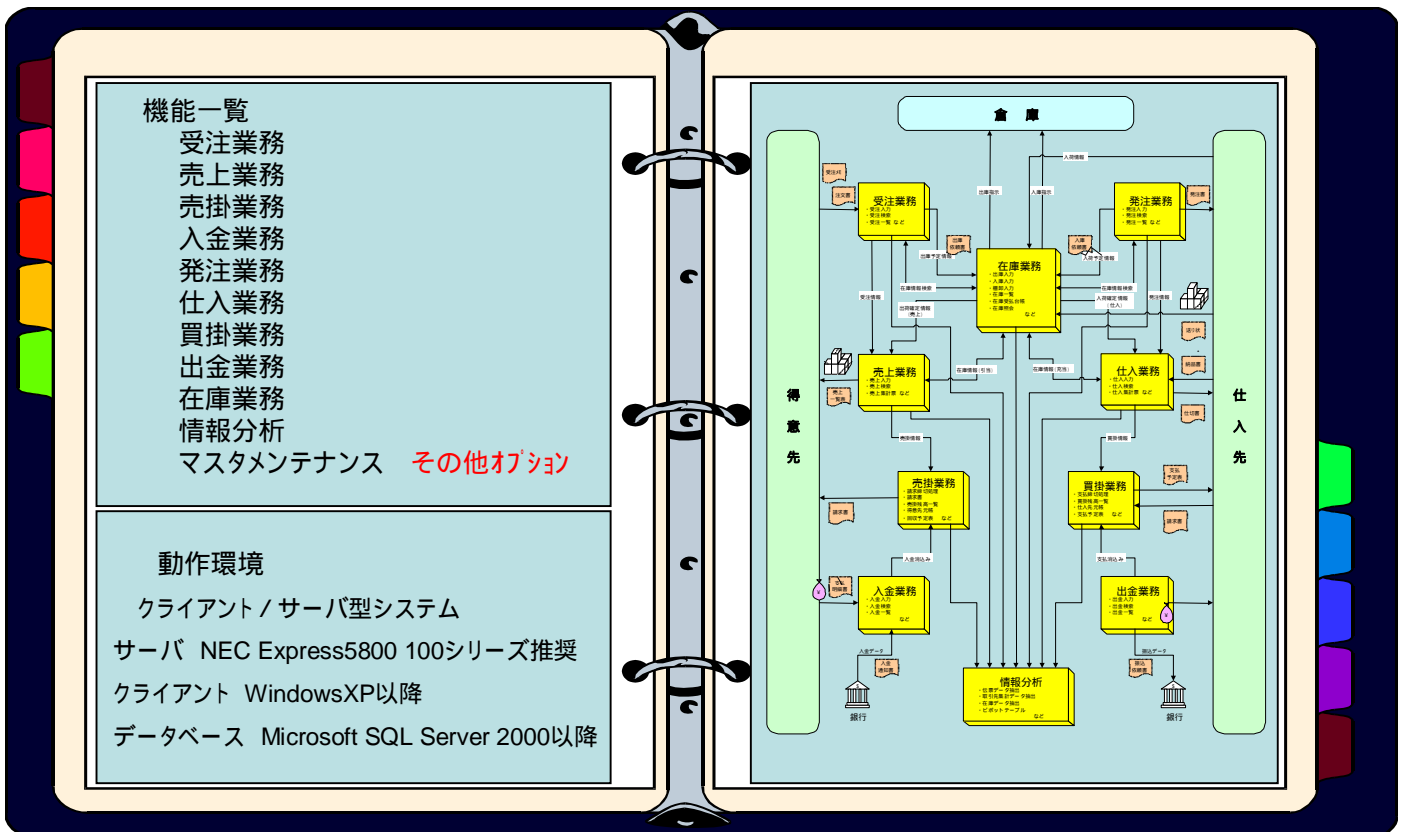
業務システムには「これで完成」というカタチはありません。業務のやり方は、時代の変化や顧客のニーズに合わせて改善されていきます。つまり、業務システムは企業の変化に合わせて成長していくものなのです。私たちが理想とする業務システムは、仕事のやり方が変化したり、新しい要望が発生した場合でも、柔軟に対応できるシステムです。私たちは、それを実現するために「データ中心アプローチ」を採用しています。

業務(プロセス)を中心に位置付けて設計するのではなく、データを中心に位置付けて設計する手法を「データ中心アプローチ」といいます。これは、業務(プロセス)の変化は激しいが、業務に必要となるデータの変化は緩やかであるという法則によるものです。データ中心アプローチで設計されたシステムは、業務(プロセス)の変化に強く、システム改変による矛盾が起きにくくなります。つまり、変化に柔軟に対応できる業務システムを構築することができるわけです。

長く使えるシステム

業務システムの構築には、大きなコストがかかります。しかし、そのコストは、システムを長く使いつづけることで、最小化することができます。複雑なシステムや、拡張性のないシステムは、企業の変化についていけません。そのため、大きなコストをかけて再度開発しなければならなくなります。

私たちは、「シンプル」で「データ中心」にシステムを構築することで、「長く使えるシステム」を実現します。



 **TMC テクノ・マインド株式会社**

〒983-8517

仙台市宮城野区榴岡一丁目6番11号

問合せ先 TEL 022-742-3345

FAX 022-742-3373

Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。